



PTA授業参観・学級懇談・常任委員会

12月16日(金)に行いましたPTA授業参観および学級懇談に、雪の中、多数ご来校いただきありがとうございました。夏休み以降、「実りの秋」を経て、ぐんと成長し頼もしくなった子どもたちの様子をご覧いただけたことと思います。

1年生は、「いきものはぴょうかい」と「おみせやさんごっこ」を行いました。お店やさんは、「おかいものチケット」で様々な魚やペット、果物を購入することができる仕組みでした。子どもたちの元気な声と輝く笑顔に、保護者の皆さんも自然に笑顔になっていました。

2年生は国語でお話の紙芝居、4年生は社会科で秋田の偉人の紙芝居を披露しました。教科は違いますが、同じ表現方法で学習を深めていました。

3年生は算数プリント、よつばは国語の「大豆」、つくしは算数の「面積」の学習をがんばりました。そして、さすが5・6年生は、お父さんやお母さん方が見えても、普段と変わらぬ落ち着いた授業態度でした。



【1年 国語・生活】



【2年 国語】



【3年 算数】



【よつば 国語】



【4年 社会】



【つくし 算数】



【5年 国語】



【6年 道徳】

学級懇談では、8～12月の子どもたちの様子や冬休みの過ごし方などを中心として話し合っていました。冬休み頃からは、「次の学年」を強く意識した学習や生活が必要です。担任が話したクラス全体の様子を参考に、進級に向けての我が子の現状を見ていただけたらと思います。冬休みは、個人面談等はありませんので、個別の相談がある場合は、担任にご連絡ください。

学級懇談終了後、今年度3回目のPTA常任委員会を行いました。PTA役員の皆様、遅くまでご協議いただき、ありがとうございました。

二つの展示

その1 一人学びノート

12月13日(火)～16日(金)、玄関ホールに、子どもたちが家庭学習でがんばった「一人学びノート」が、各学年から3～4冊展示されました。

「低学年でもこんなにびっしりがんばれる！」
「さすが中学年、学習レベルがアップするなあ」
「高学年になると、こんなに丁寧にすっきりとまとまったノートが作れるんだ」

など、学年による学習内容や取り組み方を比較でき、子どもたちにとってとても刺激になる展示でした。



一方、ノートにはその子の個性が全て出ます。

- 文字の書き方 (丁寧さ、形など)
- ページ全体の構成 (マス目の使い方、余白の使い方など)
- 赤ペン、青ペンなど色の使い方
- 学習の時刻や時間 (いつ、どのくらいやったか)
- 書かれてある内容 (簡単にできるもの、思考を要するもの、その子なりの工夫など)

そのような目で見ると、また、別のおもしろさもある展示でした。

なお、私見ですが、家庭学習への取り組み方は、学校での授業への取り組み方にかなり近いと言っても過言ではないと思います。「学校での勉強の様子なんて分からないから…」とおっしゃる保護者がいますが、家庭学習の様子を見ると、だいたい分かります。

- 学習のために机に向かう時刻や時間が決まっている。
- 学習の場所が決まっている。
- 言われなくても自ら進んでやる。
- 集中して机に向かえる時間が〇分間ぐらい。
- 楽しいことの前に学習するか、後に学習するか。

「ああ、うちの子は、こうやって学校で勉強しているんだな」という目で家庭学習の様子を見てみると、それもまた興味深いです。

その2 陶芸クラブ作品

完成度の高さに驚かされました。玄関ホールで行われた「陶芸クラブ」(8名)の作品展です。

表札、コーヒーカップ、お椀、茶碗、お皿、マスコット、小物など、形といい、色合いといい、どれをとっても逸品ぞろいでした。ここにもまた、子どもたちの個性が表れ、見ていると本当に楽しくなる見応えのある作品展でした。



「はなみずき」代表の須田さん(蔵)、東由利教育学習課の小野さんをはじめとする指導者の皆様、懇切なるご指導、本当にありがとうございました。